

2021年2月22日 第363号

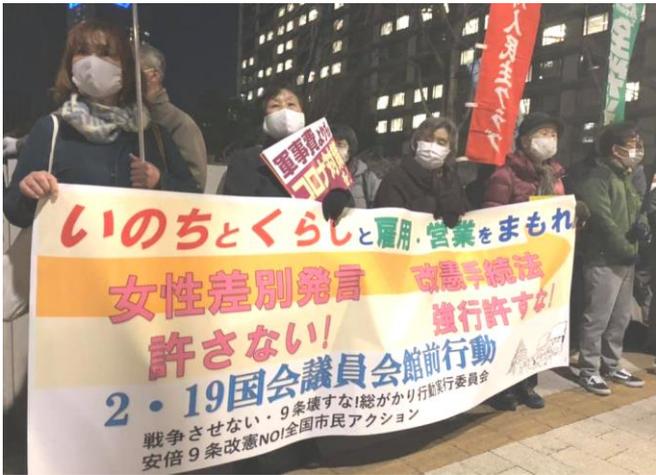
憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
<http://www.kyodo-center.jp> mail: move@zenroren.gr.jp

総がかり行動「19日行動」に300人

女性差別発言は許さない！

戦争法は廃止！総選挙で自公政権を倒そう！



総がかり行動実行委員会・全国市民アクションは2月19日夜、国会議員会館前で「19日行動」を行い300人が参加。「いのちとくらしと雇用・営業をまもれ!」「女性差別発言許さない!」「改憲手続法強行許すな!」と訴えました。立憲民主党の吉田忠智参議院議員、社会民主党の福島瑞穂参議院議員、日本共産党の井上哲士参議院議員があいさつしました。

主催者あいさつを総がかり行動実行委員会共同代表の高田健さんが行い、「菅首相は、コロナ感染拡大で緊急事態宣言が延長されたことなど

自分に責任があると言っているが、責任を取るといふなら政策が無能であることの責任を取り、退陣するしかない。森前会長の女性差別発言は許すことはできない。根本的な差別構造であり、氷山の一角だ。声をあげてたかかわなければ差別をなくすことはできない。今年は総選挙がある。野党政権をつくり必ず戦争法を廃止するためたかおう」と呼びかけました。

共謀罪 NO!実行委員会の宮崎俊郎さんは、「マイナンバー情報 500 万人分が中国に漏洩した問題を立憲民主党の長妻議員が追及した。漏洩はずさんで許されない。事実か検証してほしい。解明がされなければ、デジタル改革関連法案の審議はできない。廃案にむけ最後までたたかう」と決意を述べました。

ヒューマンライツ・ナウ事務局長の伊藤和子弁護士は、「森会長発言には驚いた。笑っていた人やいさめなかった人も共犯だ。こういったことは繰り返されてきたが、ネット署名が15万人分集まり、森会長を追い詰めることができた。理不尽なことに声をあげれば社会を変えられるということに確信を持とう」と訴えました。

日本キリスト教協議会の金性済(キム・ソンジェ)牧師は、「辺野古の埋め立てに遺骨が入った土砂を使うことは戦没者の遺骨収集の推進に関する法律にある、『国は遺骨収集の施策を総合的に策定し、確実に実施する責務を有する』ということに逆行する。菅政権・防衛省の暴挙を許してはいけぬ。3月2日に沖縄のハンストに連帯し、議員会館前で集会を行う。ご参加を」と呼びかけました。

行動提起を、戦争をさせない1000人委員会の竹内広人さんが行いました。